

令和8年

第5回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和8年第5回仙北市議会定例会 市政報告

令和8年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、熊本地震並びに千葉豪雨等の災害についてです。

7月28日、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の大地震が発生しました。建物倒壊等による犠牲者、行方不明者は日を追うごとに増え、8月27日現在で、死者38人、住家被害31,798棟にのぼる甚大な被害となりました。

仙北市では、熊本地震災害義援金として、9月30日まで各市民センター・出張所窓口に募金箱を設置するほか、市職員から取りまとめた義援金をお届けすることといたしました。

また、8月13日から14日にかけて、千葉県で発生した線状降水帯による豪雨で千葉県内の広範囲にレベル5の大雨特別警報が発表され、千葉市を中心に24時間降水量が360mmを超える記録的な降水量が観測されました。この豪雨により、8月27日現在、死者13人、住家被害4,635棟と深刻な被害が発生しています。

さらに、8月27日には、北陸地方で明け方から朝にかけて線状降水帯が相次いで発生し、石川県と富山県にレベル5の大雨特別警報が発表され、27日朝までの12時間雨量が300mmを超える豪雨となり、能登半島南部を中心に甚大な被害をもたらしました。8月30日には、福井県でもレベル5の大雨特別警報が発表され、記録的な大雨により多くの河川が氾濫し、床上・床下浸水被害が多数確認されています。

昨年8月に仙北市において発生した豪雨災害では、8月19日から21日にかけて降り続いた雨が8月1ヶ月間の平均降水量を超える319mmとなり、桧木内川の氾濫が発生したことで、上桧木内地区へ警戒レベル5の緊急安全確保を発令する事態となりました。幸い人的被害はありませんでしたが、床上浸水や、床下浸水、農地・農業用施設や農

作物の被害など市民の生活に直結する甚大な被害をもたらしました。

全国的に見ても、線状降水帯や台風などの影響による記録的な豪雨災害が毎年のように発生していることから、市民の生命と安全安心な暮らしを守るため、今後も空振りを恐れることなく、災害に対応していかなければならないと痛感しております。

改めまして、犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の早期復旧、日常生活への回復を心から祈念いたします。

次に、仙北市の人口動態について報告します。

7月31日現在の人口は2万1,928人で前年同月比571人減、世帯数は1万139世帯で前年同月比88世帯減となっております。

今年度7月までの出生届出数^{しゅっしょうとどけですう}は23人となっています。前年同時期の出生届出数は14人で、9人増という状況です。
また、7月の転入は36人、転出は28人となっています。

次に、一般会計補正予算（第5号及び第6号）についてです。

第5号の補正額は、6,218万9千円の追加で、補正後の額は228億8,556万8千円です。補正事業は、石神宮農組合乾燥調製設備更新事業費補助金、道路維持補修費、局所がけ崩れ対策事業費、林業施設災害復旧事業費です。早急に事業を実施する必要があることから、定例会初日の議決をお願いするものです。

第6号の補正額は、10億1,117万円の追加で、補正後の額は238億9,673万8千円です。主な事業は、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費、社会福祉協議会補助金、高齢者世帯等除雪支援事業費、病院事業会計補助金、病院事業物価高騰対策支援事業費補助金、新基本計画実装・農業構造転換支援事業費補助金、農業用施設災害復旧事業費などです。債務負担行為補正は追加、地方債補正は追加及び変更です。

次に、行財政改革についてです。

「令和8年度市民意識調査報告書詳細版」及び「人口推計地区別比較」をタブレットに掲載しております。今後の市政運営の基礎資料となるものですので、ご確認くださいようお願いいたします。

また、持続可能な行財政運営の確立に向け、主に一般財源を活用している80の事務事業について、部長等会議構成員による一次評価、総合政策審議会による外部評価を経て、副市長及び教育長とともに、最終的な事業の妥当性について判定を行いました。

あわせて、総合計画に掲げる各部局の施策評価についても作業を開始しております。これらの評価結果につきましては、取りまとめができ次第、改めて皆様にご報告いたします。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇仙北市テレビ回覧板の運用開始について

8月1日、秋田朝日放送株式会社が提供するサービスである「仙北市テレビ回覧板」の運用を開始しました。これにより近年増加するクマや災害に関する情報をはじめ、暮らしに関する情報、イベント情報、子育てに関する情報などを自宅のテレビでご覧いただくことができるようになりました。

7月31日には、サービス開始に先立ち、秋田朝日放送株式会社樋口^{ひぐち}敦史^{あつし}社長との共同記者会見を開催し、サービス概要の説明や質疑応答などの記者発表を行いました。当日は、武藤議長をはじめとして市議会議員の方々にご出席いただきありがとうございました。

「仙北市テレビ回覧板」は、テレビを利用した新たな情報発信ツールであり、これまで情報が届きにくかった市民の方々にも利用していただける利便性の高いサービスで、広報せんぼく8月1日号においても大々的に周知しております。

今後も市民の皆様にご利用いただけるよう周知するとともに、様々な情報発信に活用してまいります。

◇ホテル誘致事業について

通過型観光地からの脱却と市内経済の活性化を目指し、これまで首都圏企業へのアプローチを継続的に進めてまいりましたホテル誘致について、より強力に推進するため、本日9月1日付で総務課の所属機関として「ホテル誘致推進室」を新たに設置いたしました。

市街地や田沢湖高原地区など、多様なニーズや形態に対応したホテル誘致の実現に向け、今後もさらに精力的に取り組んでまいります。

◇仙北市消防訓練大会について

6月28日、令和8年度仙北市消防訓練大会が開催され、小型ポンプ操法の部で第4分団2班が優勝、第4分団3班が準優勝、第8分団1班が第3位となりました。また、小型ポンプ操法の部個人賞も4人の選手が受賞しました。

◇大仙仙北美郷支部消防訓練大会について

7月18日、大仙市で開催された令和8年度秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会において、小型ポンプ操法の部で第8分団が第3位、第4分団3班が第4位、第4分団2班が第5位と出場3隊がすべて入賞し、好成績を収めることができました。また個人賞では、小型ポンプ操法の部1番員で第4分団2班の高橋修造^{たかはししゅうぞう}選手が受賞しました。

◇市税等の収納率について

令和7年度の市税等の収納率は、前年比で普通税と目的税を合わせた一般税が0.9ポイント増の96.5%、国民健康保険税が2.1ポイント増の89.5%、後期高齢者医療保険料 普通徴収分が0.7ポイント減の97.7%です。

また、令和8年度の速報値ですが、7月末現在の市税等の収納率は、前年比で一般税が0.4ポイント増の53.7%、国民健康保険税が

4.0ポイント増の22.7%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が5.2ポイント減の16.8%です。

引き続き、財源の確保、収納率の向上に全力で取り組みます。

【企画部】

◇ふるさと納税について

8月25日現在の寄附件数は18,280件で、対前年比121%と増加しておりますが、一方で、寄附額は、米価の下落に伴う返礼品の寄附額の見直しなどの影響により、対前年比76.3%となる約8億2,800万円で推移しております。

本年10月から、ふるさと納税に係る経費の割合が見直されることに伴い、全国の自治体において返礼品に必要な寄附額の引上げが見込まれることから、制度改正直前となる今月は、駆け込みによる寄附の増加が予想されます。

この機会を確実に捉えられるよう、返礼品の在庫確保や受付状況の把握、円滑な配送体制の構築に万全を期すとともに、効果的な情報発信に取り組んでまいります。

今後も、返礼品事業者の皆さまと連携しながら、より多くの方々から仙北市を応援していただけるよう、創意工夫を重ねてまいります。また、ふるさと納税に関する制度変化、社会変化等に円滑に対応できる行政経営の検討も同時に進めてまいります。

◇女性デジタル人材活躍推進事業について

今年度新たに採択された地域未来交付金を活用して実施する本事業について、二つの業務委託契約をいずれも市内事業者と締結しました。

「デジタルこまち応援事業」では、首都圏などで活躍する女性デジタル人材を本市に招き、市内において不足しているサービスや仕事のニーズを把握・分析するとともに、本市で活躍しやすい環境づくりにつなげるためのモニター調査を実施します。

また、「デジタルこまち育成事業」では、市内の女性を対象に、デジタルスキルに加え、希望に応じて、IT企業などとのマッチングや個人で受注する方法、仕事の紹介も行うなど、実践的な研修を実施します。

これらの取組により、市内の女性がデジタルスキルを身に付け、時間や場所にとらわれにくい働き方に挑戦できる環境を整えるとともに、市外で活躍する女性デジタル人材との交流を通じて、新たな仕事やサービス、人の流れを生み出し、女性が活躍できる地域づくりにつなげてまいります。

◇地域みらい留学について

6月20日、21日の2日間、地域みらい留学事務局が主催する「日本まるごと進学フェス in 東京」が開催され、角館高校の生徒2人、教員1人、市職員3人が参加しました。

全国から114校の学校が参加し、2日間で755組の来場者があり、秋田県からは男鹿海洋高校、矢島高校も参加しました。角館高校のブースには、2日間で30組の中学生とその保護者が訪れ、角館高校への留学について、現役の角高生2人を中心に具体的な説明を行いました。

8月22日、23日には2回目の同イベントに参加し、角館高校の生徒2人、教員2人、市職員2人が参加しました。全国から91校の学校が参加し、2日間で788組の来場者がありました。県内からは鹿角高校、男鹿海洋高校、矢島高校も参加し、角館高校のブースには2日間で28組の小中学生とその保護者が訪れました。

今後も引き続きオンライン説明会などを実施し、角館高校への留学を志望する中学生の獲得に向け、取り組んでまいります。

◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会要望活動について

7月27日、期成同盟会会長である^{おいまつひろゆき}老松博行大仙市長ほか関係する首長等と共に要望活動を行いました。国土交通省の国土交通審議官

や鉄道局、財務省主計局のほか、関係する秋田県・岩手県選出の国会議員等へ要望書をお渡しし、新仙岩トンネル整備の早期実現について要望しました。

国土交通省からは、事業主体である鉄道事業者の意欲がこのトンネル整備事業を進める上で鍵であり、鉄道事業者も一緒に要望活動を行うことで、さらに機運が高まるのではないかと。また、財務省からは、今回地元自治体の熱意を感じることができ、時間短縮だけではなく、防災面にも寄与することも理解できたので、国土交通省と連携し、引き続き支援策等を検討していくといった話がありました。

新仙岩トンネル整備の早期実現に向けては、関係機関と協力し引き続き粘り強く取り組んでまいります。

◇タウンミーティングの開催について

8月1日、田沢湖会場と角館会場の2か所でタウンミーティングを開催し、合計25人の市民の皆さまにご参加いただきました。

今回は、説明会方式ではなく、市民の皆さまと市が同じテーブルを囲み、「仙北市のファンづくり・移住」、「空き家のこまりごと」、「地域の足・公共交通」の3つのテーマごとに分かれて課題や解決策を話し合うグループワーク形式で初めて行いました。

両会場とも、幅広い世代の皆さまから熱心なご意見をいただき、未来の仙北市を共に考える貴重な機会となりました。今回いただいたご意見を施策検討に活かし、今後も市民の皆さまと対話を重ねながら、より良いまちづくりを進めていきます。

◇^{はまだきんご}濱田^{こんりゅう}謹吾銅像建立40周年記念事業について

8月22日、前秋田県知事で戊辰会顧問の^{さたけのりひさ}佐竹敬久氏にご同行いただき、戊辰会会員の皆様、並びに市議会議員団の皆様とともに、総勢27人で姉妹都市・長崎県大村市を訪問しました。

大村公園内で開催された「濱田謹吾銅像建立40周年記念式典」には、大村市側から吾往会や姉妹都市親善協会の皆様、そして両市の関係者や議会関係者など総勢71人が参集いたしました。式典では、戊辰戦争以来私たちが紡いできた歴史の重みを再認識するとともに

に、これからの両市の結びつきを共に誓い合いました。

本市におきましても、来年度は角館町岩瀬の濱田謹吾銅像が建立40周年を迎え、記念式典や関係者の交流を予定しております。さらに、3年後の令和11年度には「姉妹都市提携50周年」という大きな節目を本市で迎えることとなります。

先人のご縁によって結ばれた絆を次世代へ大切に継承し、両市の交流がより一層発展するよう、今後も力を尽くしてまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇秋田・台湾経済交流特別顧問^{こういくじん}黄育仁氏の訪問について

7月14日、秋田・台湾経済交流特別顧問に委嘱された^{こういくじん}黄育仁氏が仙北市を訪れ、田沢湖畔や農家民宿、角館の町並みを視察されました。

黄氏は台湾の現地政府や経済界などに多彩なネットワークをお持ちであり、このご縁を契機として、当市の商工業や観光など幅広い分野でのご助言をいただきながら、経済交流のさらなる促進が図られることを期待しております。

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会（伝建協）省庁要望活動について

7月15日、東京都にて行われた全国伝統的建造物群保存地区協議会の省庁要望活動に、会長である^{むらやまたかし}村山卓金沢市長をはじめとした伝建協9市町の首長と共に参加してまいりました。課題となっている防災対策や移住定住などについて、伝建にぎわい推進議員連盟の^{たにこう}谷公一衆議院議員や宮本周司参議院議員をはじめとした国会議員の皆様にご同行いただき、文化庁、文部科学省、財務省を訪問して地域の現状を伝えてまいりました。

各省庁においても伝建群の重要性をご理解の上、引き続きご支援していただける旨のお話がありました。引き続き、全国伝統的建造物群保存地区協議会副会長都市として、伝建地区の保存と活用に努めてまいります。

◇観光大使交流会について

7月13日、都内の「銀座 佐藤養助」にて「仙北市観光大使交流会」を開催しました。当日は、仙北市の観光PRなどにご尽力いただいている観光大使である演歌歌手の^{こざくら まいこ}小桜舞子さん、音楽プロデューサーの^{はーじえい}ha-jさん、アース製薬株式会社取締役首席執行役員の^{さんまいどう}三枚堂正悟さんの3人にご参加いただき、仙北市の観光における取組状況等を報告させていただき、より一層のPR活動をお願いしました。

◇たざわ湖・龍神まつりについて

7月25日、田沢湖畔イベント広場を主会場に「たざわ湖・龍神まつり」が開催されました。まつりに先立ち、辰子姫生誕の地と伝えられる田沢湖岡崎地区で神事が行われました。会場にはキッチンカーが並びグルメ広場が設けられ、音楽やダンスなどのステージイベントが行われました。夜には雨の中、龍のみこしを担いでねり歩き、最後は夜空を彩る湖上花火が打ち上げられ、たくさんの来場者を魅了しました。

◇台湾トップセールスについて

7月18日から22日までの5日間、台湾におけるトップセールス活動を行いました。今回は、秋田県のトップセールスに一部同行し、^{すずき}鈴木健太^{けんた}知事や県内の各首長との関係機関訪問に加え、本市独自の取り組みとして、台北市内の商業・物販関係の事業者や旅行会社を直接訪問しております。そこでは本市物産の販路拡大やビジネス展開の可能性についての意見交換など、観光誘客にとどまらない宣伝活動を行いました。引き続き地域経済の発展に直結するインバウンド誘客に取り組んでまいります。

◇台北市政府教育局との覚書(MOU)締結について

7月20日、台北市政府にて台北市政府教育局との覚書(MOU)を締結しました。締結式には、姉妹校である師範大学附属高級中学や北投国民中学、台北市商圈産業連合会理事長の^{しゅうすい び}周水美氏、仙北市台湾親善大使の^{ひと と たえ}一青妙氏のほか、鈴木健太知事や^{くどう よしのり}工藤嘉範^{すがわら こうじ}県議会議員、^{みなとたかのぶ}管内の首長として男鹿市の菅原広二市長、由利本荘市の湊貴信

市長にもお立ち会いただきました。

今回の締結により、台湾からの教育旅行誘致がさらに加速するとともに、実りある相互交流の実現が期待されます。本市の持つ豊かな伝統や歴史、産業、そして文化を存分に活かし、国際交流を積極的に推進してまいります。

◇JICA マレーシア・バングラデシュ青年研修について

7月18日から19日にかけて、独立行政法人国際協力機構、JICAの事業で、マレーシアとバングラデシュの青年団15人が本市を訪れました。青年団は再生可能エネルギー分野の研修として、市内農家民宿に宿泊し、農山村体験を通して地域の方々との交流を深めたほか、生保内発電所やクニマス未来館を視察して環境問題について学ばれました。

今後も農山村体験推進協議会と連携し、海外からの研修の受け入れを積極的に行うことで、国際的な人材育成や相互理解に貢献してまいります。

◇台北駐日経済文化代表処^{さいめいよう}蔡明耀副代表の訪問について

8月29日と30日の両日、台北駐日経済文化代表処^{さいめいよう}蔡明耀副代表が仙北市を訪問しました。これは大仙市、仙北市、仙北市国際交流協会が「大曲の花火大会」へご招待したことにより実現したもので、田沢湖畔の視察や歓迎昼食会にもご出席いただきました。

国際交流事業は青少年の育成、農山村地域の振興、観光振興という観点からも非常に重要であるため、当市では今後もこうした取り組みを積極的に推進してまいります。

◇仙北市台湾親善大使^{ひととたえ}一青妙氏の訪問について

8月29日から9月1日まで、仙北市台湾親善大使である一青妙さんが仙北市を訪問しました。滞在中には、田沢湖や角館の観光スポットを巡り様々なコンテンツを体験されたほか、大曲の花火を鑑賞され、仙北市国際交流協会主催で行った台北駐日経済文化代表処歓迎昼

食会にも来賓としてご参加いただきました。一青さんには仙北市と台湾の架け橋として、ご自身の SNS を通じた精力的な情報発信にも努めていただき、本市の魅力を広く世界へ届けていただいております。

【農林商工部】

◇大雨災害について

本年7月、市内は2度にわたって大雨に見舞われ、7月11日から13日および7月29日から8月2日に発生した大雨により、農作物、農地、農業用施設に被害が生じております。

7月29日から8月2日の大雨では角館町小勝田地区のリンドウが越水により浸水被害を受けており、被害面積は40アールとなっております。また、両期間の大雨による農地・農業用施設の被害は、農地5箇所、農業用施設8箇所の合計13箇所となっており、被害内容といたしましては、土砂流入、土砂堆積、畦畔崩落、水路の埋没などが発生しております。今回の定例会に復旧支援予算を計上しております。

◇KDDI 株式会社からの鳥獣害対策に係る寄附金贈呈について

8月19日、KDDI 株式会社東北総支社より、社員の社会貢献活動である「+αプロジェクト」を通じた鳥獣害対策に係る寄附金の贈呈式が執り行われました。

仙北市では近年、山林の餌不足などの影響により、クマやイノシシなどによる農作物被害が増加しているほか、人里への出没に伴う人身被害への懸念も高まっており、迅速かつ効果的な鳥獣害対策が喫緊の課題となっております。

この度の寄附金は、こうした本市の地域課題の解決と、住民の皆様の安心・安全な生活環境の確保に役立てるため、鳥獣害対策に活用させていただきます。KDDI 株式会社様には、日頃より本市への多大なご支援をいただいております。昨年8月の豪雨災害により上桧木内出張所が被災した際には、いち早く通信機器を無償で貸与いただくなど、地域に寄り添ったご支援を賜りました。

今回の「+αプロジェクト」によるご寄附につきましても、社員の皆様

の善意が込められたご厚意に対して心より感謝申し上げます。今後とも、いただいたご寄附を有効に活用し、地域の安全・安心に努めてまいります。

◇町田市への表敬訪問について

8月4日、東京都町田市の稲垣^{いながきこうじ}康治市長を表敬訪問しました。

毎年10月および12月に同市「ぽっぽ町田」を開催地として実施している「仙北市観光と物産展山の楽市」に対し、これまで多大なるご協力をいただいていることへの深い感謝を申し上げるとともに、今後更なる強固な連携を築くための意見交換を行いました。

これまで培ってきた町田市との絆をより一層深め、都市間交流の推進および地域経済の活性化に全力で努めてまいります。

【建設部】

◇八幡平山系に係る直轄砂防事業整備促進期成同盟会について

7月9日、期成同盟会の会長として、関係する首長等とともに秋田県選出国會議員をはじめ、国土交通省や内閣官房国土強靱化推進室への要望活動を行いました。

また7月24日には、グランデールガーデンにおいて本期成同盟会の通常総会を開催しました。

今後も、地域住民の生命・財産を守り、生活の安定を図るため、砂防堰堤のハード対策の充実等について、関係自治体と連携して要望活動するなど、直轄砂防事業促進に向けた取り組みを強力に進めます。

◇檜木内川の家屋浸水対策に関する説明会について

8月21日、紙風船館で上桧木内地区の災害復旧事業について、「檜木内川の家屋浸水対策」に関する説明会が行われ、25人の参加がありました。

説明会では、仙北地域振興局職員と市職員が出席して、家屋の浸水対策工事の概要や詳細とそれに伴う災害危険区域の説明を行いま

した。また今後、上桧木内地区で数多くの工事が本格化することから、受注施工業者が「桧木内川災害復旧連絡協議会」を立ち上げるため、工事に関する困りごと等は、協議会に相談してほしい旨の説明がありました。

◇水道検針票の誤りについて

7月3日、水道検針の委託業者から角館地域の274軒に誤った使用料金が記載されたお知らせを配布したと報告がありました。

同日、仙北市公式 LINE においてその旨を報告し、当該委託業者には、原因究明と再発防止を指示しました。後日、対象世帯に謝罪文と修正したお知らせ票を配布しております。

今回の件については、誤操作によって検針機器の日付がリセットされたことに起因する誤りでありました。

委託業者において、再度同様の事案が発生することのないよう、再発防止策として検針月以外の設定を不可とするシステム上の改修実施、また、全検針員に対し操作方法の再指導が実施されております。

【医療局】

◇病院事業経営健全化計画に関する第1回住民説明会について

6月22日から7月14日にかけて、令和8年3月に策定した経営健全化計画の概要を説明し、市民の皆様よりご意見・ご質問を伺うため、市内5か所において計7回住民説明会を開催しました。

延べ82人の方にご参加いただき、質疑応答においては、様々なご意見等が寄せられました。いただいたご意見等を参考として、早期の経営健全化に向けて引き続き取り組んでまいります。

なお、今回の説明会では計画の概要や経営の現状を中心とした説明を行いましたが、病院再編統合の目指す姿や今後の地域医療体制など具体的な事項につきましては、10月以降に実施を予定している、第2回住民説明会においてご説明いたします。

【農業委員会】

◇農業委員並びに農地利用最適化推進委員の選考について

令和8年12月19日で任期満了となる農業委員について、6月18日から7月17日まで委員の募集を実施したところ、17人の定員に対し17人の届出がありました。同じく12月19日で任期満了となる農地利用最適化推進委員について、6月18日から7月31日まで委員の募集を実施したところ、20人の定員に対し21人の届出がありました。

このうち農業委員については、7月30日に副市長を委員長とする候補者選考委員会を開催し、応募者17人を候補者として決定いたしました。

本定例会に人事案件として提案いたしますので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

なお、農地利用最適化推進委員については、8月7日に農業委員会会長を委員長とする候補者評価委員会を開催し、21人の応募者のうち20人を候補者として決定し、9月7日開催の農業委員会総会で決定することになっております。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係3件、条例関係6件、予算関係5件、決算認定関係12件、その他1件、人事関係22件の計49件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。